

# 平成25年度 北海道赤レンガ建築賞 ひがし大雪自然館 HIGASHITAISETSU NATURE CENTER



## 平成25年度 北海道赤レンガ建築賞

### ■主 催

北海道・(一財)北海道建築指導センター・(一財)北海道建設技術センター  
(公社)日本建築家協会北海道支部・(社)北海道建築士会  
(社)北海道建築士事務所協会

### ■趣 旨

地域社会の発展に貢献する創造性豊かな建築物等を表彰することにより、本道における建築創造活動を促進し、健全な地域文化の発展と広く建築文化に対する意識の高揚を進め、もって、地域に根ざしたまちづくりの推進などを図ることを目的とします。

### ■表 彰 内 容

- 北海道赤レンガ建築賞 1点 表彰状、銘板
  - 北海道赤レンガ建築奨励賞 数点 表彰状
- 両賞とも、北海道知事が建築主、設計者、施工者を表彰します。

### ■募 集 対 象

北海道内に建設され、平成25年3月31日までに竣工した建築物及び建築物群とします。なお、竣工後の経過期間がおおむね3年以内の作品が応募の対象となります。ただし、住宅など個人の利用に限定されるものは除きます。

### ■募 集 期 間 平成25年8月1日から平成25年8月30日まで

### ■応募作品数 18作品

### ■審査委員会

委員長 大野 仰一 東海大学大学院 教授  
副委員長 上遠野 克 (公社)日本建築家協会北海道支部 支部長  
委員 安藤 敏郎 (社)北海道建築士事務所協会  
委員 濑戸口 剛 北海道大学大学院工学研究院 教授  
委員 本間 恵美 (社)北海道建築士会 理事

## 平成25年度 北海道赤レンガ建築賞 実行委員会

一般財団法人 北海道建築指導センター  
一般財団法人 北海道建設技術センター  
公益社団法人 日本建築家協会北海道支部  
一般社団法人 北海道建築士会  
一般社団法人 北海道建築士事務所協会  
一般社団法人 北海道設備設計事務所協会  
一般社団法人 日本建築構造技術者協会北海道支部  
公益社団法人 日本建築積算協会北海道支部  
一般社団法人 建築設備技術者協会北海道支部  
一般社団法人 北海道建設業協会  
一般社団法人 北海道電業協会  
北海道電気工事業工業組合  
一般社団法人 北海道空調衛生工事業協会  
北海道管工事業協同組合連合会  
一般社団法人 北海道建築技術協会  
北海道  
実行委員長 吉田 宏



平成25年度 北海道赤レンガ建築賞受賞作品

## ひがし大雪自然館 HIGASHITAISETSU NATURE CENTER

**■ 建築主** 北海道地方環境事務所、上士幌町

**■ 設計者** 〈建築〉株式会社 アトリエアク

〈電気・機械設備〉有限会社 基設備研究所

〈構造〉有限会社 エスフォルム

**■ 施工者** 〈北海道地方環境事務所区分〉

〈建築・電気・機械〉伊藤組土建 株式会社 〈展示〉株式会社 丹青社

《上士幌町区分》〈建築〉宮坂・橋内経常建設共同企業体

〈電気〉横山・宮内・スズキ経常建設共同企業体

〈機械〉株式会社 塚田設備工業 〈展示〉株式会社 丹青社

**■ 建築物の概要** 所在地 河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷48-2  
主要用途 博物展示施設

構造及び階数 木造平屋建

建築面積 1,043.12m<sup>2</sup>

延べ面積 970.10m<sup>2</sup>

竣工年月日 平成25年3月29日

1. エントランスホール

2. レクチャースペース

3. 展示スペース

4. 体験エリア

5. 多目的WC

6. 男子WC

7. 女子WC

8. 物品庫

9. 電気室

10. 案内カウンター

11. ひがし大雪 自然観察ラボ

12. ひがし大雪の昆虫

13. 世界の昆虫 チョウやガの仲間

14. 世界の昆虫 甲虫

15. 事務室

16. ボランティア・会議室

17. 研究室

18. 収蔵庫

環境省ぬかびら源泉郷ビジターセンター



### □企画の特徴(地域との関わりなど、特に配慮した点)

ひがし大雪自然館は、大雪山国立公園の東大雪地域を中心とした、自然や歴史、リアルタイムな地域の情報を発信する拠点施設です。サテライトフィールドである十勝三股における、環境教育を実施する活動拠点とするため、北海道地方環境事務所と上士幌町が連携し、合同で整備しました。

北海道地方環境事務所では「環境省ぬかびら源泉郷ビジターセンター」(博物展示施設)、上士幌町は「上士幌町ひがし大雪博物資料館」(博物展示収蔵施設)を担当し、一体的に整備しました。

### □設計の特徴

国立公園内の建築は、木造切妻が原則です。ひがし大雪自然館は、北海道地方環境事務所と上士幌町との合築としてT字型に繋ぐ形態としていますが、切妻の原則は守っています。二つの施設はスパン・軒高等、全て同一寸法同一材で計画し、一体の建築として全てを統一しています。

建設地のぬかびら源泉郷は、-20℃を下回る特別寒い地域ですが、その反面温泉地であるため、地温は少し高めです。その地温を活かし、地中に蓄熱槽を形成する、電気による土壤蓄熱暖房を採用しました。この地域には昔から発電所もあり、地域エネルギーとして電気を使用しました。

### □施工の特徴(工法の特徴、施工上の配慮、工夫等)

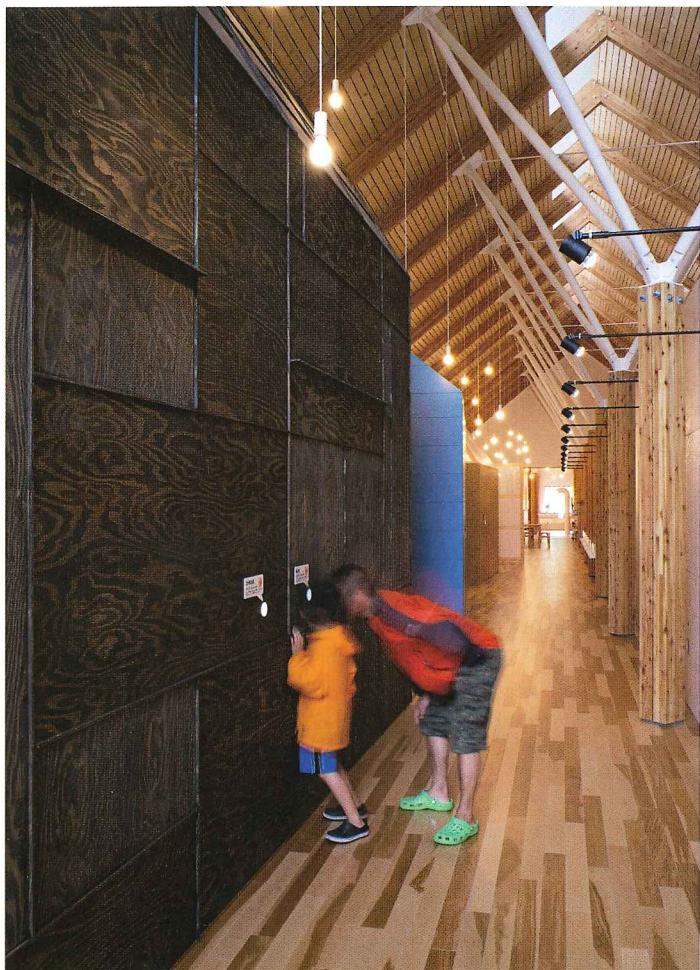
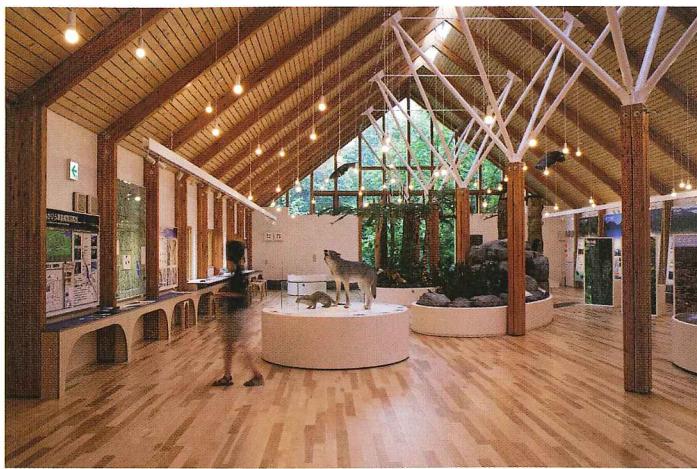
ひがし大雪自然館は、北海道産カラ松集成材を使用し、全体を構成しています。両施設とも間口13m、奥行40mとし、13mの間口は、無理をせず中間に軸力だけを負担する柱を立て、柱頭からは放射状に梁を支持するフィンガーを出しています。スチールパイプのフィンガーによって、柱、梁とも小断面となり、合理的で軽快な構造となっています。

### □完成後の地域への貢献度等

環境省ぬかびら源泉郷ビジターセンターは、東大雪の自然や歴史について、又、地域内の利用状況や登山道情報など様々な活動に関する情報を発信しています。

上士幌町ひがし大雪博物資料館は、東大雪地域の自然と世界の昆虫、そして生物多様性について解説をしています。又、ぬかびら源泉郷を中心とした観光情報も発信しています。

町内外から沢山の子供達が訪れ、大きい空間を活かしたシンボル展示や小さい空間の連続するテーマ展示、そして体験エリアを行ったり来たりしながら、雄大な自然と生物の不思議さを体験し、楽しい時間を過ごしています。



## □受賞のことば

建築主 上士幌町長 竹中 貢

この度は、平成25年度北海道赤レンガ建築賞という栄誉ある賞をいただき誠に光栄に存じます。

恵まれた自然や景観を大切に守り、環境への負荷軽減に向けた取り組みを実践しながら、自然と共生したまちづくりを標榜する本町にとって、大雪山国立公園東大雪地域の中核施設となる「ひがし大雪自然館」の建設は年来の悲願でありました。

理想とする施設の実現のために、ともに建設を進めてまいりました環境省様に改めて敬意を表しますとともに、設計・施工業者様をはじめご協力いただきました皆様方に心より感謝申し上げます。

これからも、大雪山国立公園を訪れる方々が貴重な自然を展示や体験を通じて学び、自然や観光などの地域情報を得ることのできる開かれた施設を目指して、管理運営に取り組んでいく所存でございます。この度は誠にありがとうございました。

設計者 株式会社 アトリエ アク 取締役副所長 井端 明男

ひがし大雪自然館に多大な評価を頂き、心から御礼申し上げます。

山の中の建築は切妻、大屋根、無愛想な表情をしていますが、内部は明るく包み込む優しさで、みんなが来るのを待っています。特に賑やかな子供達は大歓迎です。

私達がテーマとしたことは、内部空間のつくり方です。展示スペースを、いかに親しみやすい空間にするかです。特に木構造の場合、その空間を決定する考え方と整え方は、内部空間を印象づける要素となり、空間の質に大きく関わるものと考えました。

木と鉄を組み合わせた合理的な構造の考え方と、内部空間の整え方を常に意識しながら、全体を構成しました。

私達の建築に理解を示して下さった皆様に、心より感謝致しますとともに、今後、多くの人達に親しまれる自然館になることを見守っていきたいと思っています。

施工者 伊藤組土建株式会社 代表取締役社長 玉木 勝美

この度は赤レンガ建築賞という栄誉ある賞の受賞を賜り、施工を担当する者として誠に光栄と存じます。この度の建物は、北海道地方環境事務所と上士幌町という国と地方自治体が施主の一体となった建物で全国的にみても稀であり、発注者、設計者、施工者の共同作業も評価された一つと考えております。

ひがし大雪自然館の工事区分として、北海道地方環境事務所区分は建築、設備共に当社、上士幌町区分の建築工事：宮坂・橋内経常建設共同企業体、電気設備工事：横山・宮内・スズキ経常建設共同企業体、機械設備工事：(株)塚田設備工業、両区分の展示工事：(株)丹青社の3社2企業体で協力しながら施工致しました。発注者と共に地域づくりと環境に配慮した建物の建設に関われたことは大きな喜びと良い経験をさせて頂いたと感じております。

施工者一同、受賞を機にさらなる努力をし、社会に貢献できるように努めていく思いでございます。この度は誠にありがとうございました。